



ID: 1099

科目名	基礎ゼミ I ※(萩) 【26年度生用】			コード			
英語表記	Primary Seminar I						
担当教員名	個別に指示する			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期		単位数		
授業形態	演習	授業形式			履修形態		
1							
必修							
授業概要							
<p>大学で学ぶ意義を各自が深め、そのための基礎的な方法論を習得する。受け身で理解するのではなく、「学ぶ」「考える」「問う」という一連の技能を身につけるため、毎回の授業において課題に取り組んでもらう。さらに、自分の考えを表現する方法としてのレポートの書き方の基本形式を身につけ、論理的に表現する方法を習得する。</p>							
到達目標							
<p>①大学で学ぶことの意義について理解し、自分のライフデザインを含めてその意味について考える。②ノートの取り方や講義の心得について理解し、実践できる。③問題意識を持ち、日々の生活から課題を見つけ論理的に考えることができる。④情報検索の仕方や内容のまとめ方、表現の仕方の基礎を習得する。</p>							
授業計画							
第1回	ガイダンス:ゼミの進め方						
第2回	大学で学ぶことの意義:高校までの学びとの違い, 各自のライフデザイン						
第3回	大学で学ぶことの意義:受講の心得, ノートの取り方						
第4回	問題意識:問題意識とは何か 一興味関心から問題意識へ						
第5回	問題意識:問題意識を深める方法						
第6回	情報検索:図書館、情報教育センターの利用方法, OPACなどの使い方						
第7回	情報検索:情報検索における注意事項, メディアリテラシー						
第8回	テキストの読み取り、まとめ方:説明文の読み方, 要約の仕方						
第9回	テキストの読み取り、まとめ方:要約の仕方 (新聞等からテーマを見つけ、要約する)						
第10回	論理的思考の方法:きちんと考えるための心構え						
第11回	論理的思考の方法:きちんと考えるための方法						
第12回	進路支援講座:進路支援に関わる内容もしくは身近な問題に関する講座						
第13回	考えを表現する方法:レポートの意味, 事実と意見の違い						
第14回	考えを表現する方法:レポートの書き方① 基本形式						
第15回	考えを表現する方法:レポートの書き方② 内容						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
<p>授業態度、授業における小レポート(授業態度の評価に含む)、期末レポートにより総合的に評価する。出席は大前提であると考えてほしい。</p>			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				60%	40%		
授業外学習			テキスト、教材				
<p>基本的に欠席は認めないが、万が一欠席した場合にはレジュメ等を参考にして自分で課題に取り組む必要がある。また、授業時間内に課題が終わらない場合には次週までに必ず提出すること。</p>			藤田哲也編著『大学基礎講座 改増版』北大路書房				
参考書			受講生へのメッセージ				
			<p>大学生生活を充実させるために必要不可欠な授業であり、真摯な受講態度を期待する。この授業で学んだことは基本的に大学で学ぶ上ですべてに通じるものである。</p>				
キーワード							
情報検索, 論理的思考, レポート							